

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名		”ホースセラピーとはなんぞや” ホースセラピーの事業化に向けた連携体制の構築				
実施団体名		特定非営利活動法人 菊馬会				
事業概要		<p>【事業目的】</p> <p>菊間町には豊かな自然と愛媛県無形民俗文化財である「お供馬の走り込み」のお供馬という地域資源がある。昨年度は「ホースセラピー」の視点で障がいを持った方や親子の体験会などに取り組み、その効果を認知いただけた。本年度は地域の事業者や住民に対し馬の活用策推進が地域にもたらす意義や事業化の必要性を議論する場を設け、各種プログラム作成・人材育成に取り組み、馬と共生する独自性あるまちとして地域創生を目指す。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①地域住民や企業と連携した事前調査と説明会の実施</p> <p>②馬を活用した観光などの各種プログラムやコースづくり</p> <p>③乗馬体験会</p> <p>④ホースセラピー関連の人材育成</p>				
事業の発展性		地域の住民や企業、団体などと連携を構築しながら地域活性化に向けた事業を行っている。来年度以降は物品の作成販売、参加料などを検討し、資金調達面を強化していくように考えている。				
補助額		市補助額	497,000 円	総事業額	738,088 円	補助対象経費 738,088 円
コメント	実施団体	<p>＜事業を実施しての効果＞</p> <p>①事前調査と説明会の実施：地域の活性化の意見交換を行いながら、具現化できていない場所の点検、安全管理を行い、参加者と情報共有できた。</p> <p>②プログラム構築：教育・福祉面、事業継承・文化面、観光利用の各面において、コース設計やプログラムを作成し、試行や意見収集なども行った。今後更にブラッシュアップして取り組みを進めたいと思う。</p> <p>③乗馬体験会の実施：小中学校だけではなく、三世代で触れ合える乗馬体験会を実施した。</p> <p>④人材育成：かわら会館での講習会や話し合いを行い、学生から馬好きの方まで、多くの方と意見交換できた。</p> <p>今回の事業では、馬の世話がしたい、馬と一緒に住みたいという方が多数いる事が分かった。こういった方とのつながりを活かすことが「馬」という地域資源の継承につながると確信したので、今後の課題として取り組んでいきたい。</p> <p>＜事業を実施しての問題点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 馬を観光資源としてプロモーションし、引き続き市内外の方に興味を持ってもらうために今後も定期的に地域の企業との話し合いをする必要がある。 助成金や補助金に頼るのではなく、月々の収入源を構築する必要がある。 馬との信頼関係を築く放課後児童クラブのプログラムを下敷きに、一般的な体験会で提供できるような別のプログラムを模索する必要があると感じている。 ホースセラピーの人材を育成するにあたり、知識をもっと習得する必要がある。 <p>＜問題点に対する解決策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報共有と共に、人材育成のための勉強会を行い、関心のある方の受入環境を構築すること。 ホースセラピーに必要な知識の向上を図る為の講習会。 資金調達のため、会員の募集や参加費、菊馬会独自の馬に関する物品の作成販売について検討する。 馬の飼育方法や飼育環境の体制作り。 				

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	”ホースセラピーとはなんぞや” ホースセラピーの事業化に向けた連携体制の構築	
実施団体名	特定非営利活動法人 菊馬会	
コメント	市民活動推進委員	<p>＜総評＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱意はあると思う。 ・馬との暮らしを街の魅力として発信している。馬との生活を、市民とのつながりにどう結び付けるかを考えて事業を進めて欲しい。 ・地域の特性を生かした多彩なプログラムが実施され、多くの参加者があり事業の広がりが感じられた。今後も継続して実施して観光面に繋がって欲しい。 ・継続するには専門性が必要になるのでは。その意味で人材育成に力を入れて欲しい。 ・地元や企業との連携を図ることで、前年の課題解決にもつながっており、素晴らしい事業なので今後も続けていただきたい。そのためにも、会員数を増やすなどして、収入源についても新たな方法を考えて、しっかりと利益が出せる事業所になっていただきたい。馬好きな人なども多いという話なので、協力してくれる人や団体の開拓も進めてはどうか。 ・今治の宝でもあるお供馬、人と馬（動物）との共存、経済循環を含めた企画になっている。地元の大学、獣医学部との連携もあり、広い波及効果もあった。馬は全国、海外にも好きな人たちがいるので今後うまくつながっていくことを期待。 ・馬は生き物なので世話するのに費用がかなり掛かると思われる。事業内で参加料や餌やり代をもらっているが値段を安く設定しているので参加しやすいと思う。だが馬の維持費などを考えるともう少し参加者負担金を高めに設定してもいいかもと感じた。収入源が少しでも増えるように頑張ってもらいたい。 ・周知に力を入れ、中でもSNSでの周知の効果が非常に多かったということだったが、ハッシュタグを付ければ地元だけでなく遠方の馬好きの方々の注目を集める機会が増やせると思う。 ・馬という資源については好きな人も多く、ポテンシャルが高いので、他の地域や海外からも引きがある可能性があり、もう少し収益を上げる視点にシフトしてもいいかと思う。それこそそういうアドバイザーが入るといいかも知れない。またこういう伝統や自然豊かな地域との組み合わせはなかなかないかも知れませんが、ニーズを一杯拾って収益を上げるパッケージを上手く作っていったらもっと発展できると思われる。 ・馬が関係する祭事などは全国にありますが、動物愛護団体が反対するような内容も散見される。今後色々なアクティビティを開発していくと思われるが、こういった視点からも考えて欲しい。